

非造影 MR アンギオグラフィーFBI が、PAD 患者の血管内治療に果たす役割

1. 研究の対象

2006 年 10 月から 2021 年 6 月までの間に、下肢血管 MRI 撮像後 30 日以内に、下肢血管形成術をされた方

2. 研究目的・方法

造影剤を使用しないで下肢の動脈を画像化することを目的としています。
造影剤は腎機能が正常な方には、比較的安全な薬です。しかし腎機能の低下した患者さんには、多くの造影剤を使用することで腎臓に負担をかけるケースがあります。この研究では造影剤を使用しない MRI 検査で下肢の血管を撮像し、血管の狭窄を正確に評価できるか？調査することが目的です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、検査所見、確定診断名 等

試料：MRI 装置、血管造影装置にて収集された画像データ

4. 外部への試料・情報の提供

保存されたデータを CD にて取り出し、データの解析共同研究施設に提供する。提供されたデータは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管を行います。対応表は、研究担当者が厳重に保管・管理します。

5. 研究組織

帝京大学福岡医療技術部 診療放射線学科 教授 肥合 康弘

帝京大学保健学研究科 診療放射線科学専攻(済生会熊本病院 中央放射線部) 沖川 隆志

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 中央放射線部 沖川隆志

〒861-4193 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

研究担当者:社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院 中央放射線部 沖川 隆志

(帝京大学保健学研究科 診療放射線科学専攻)

研究責任者:帝京大学 福岡医療技術部 診療放射線学科 肥合 康弘